

邸園の概要

所在地 横浜市金沢区野島町 24 野島公園内
建設年 明治 31 年（平成 21 年復元）
構造 木造／平屋建／茅葺寄棟（下屋根葺）
その他 横浜市指定有形文化財（平成 18 年 11 月）



明治ゆかりの邸園

旧伊藤博文金沢別邸は、初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文が明治 31 年に別荘として建設した建物です。

邸園の概略

旧伊藤博文金沢別邸は、横浜市金沢区の野島公園内に位置し、初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文によって、明治 31（1898）年に建築された田舎家風の海浜別荘建築です。

伊藤博文は、明治憲法ゆかりの地である金沢に別荘を構え、この地には皇太子（後の大正天皇）をはじめ、皇族や韓国皇太子などを度々招いていました。

建物は、東京湾に面して続く海岸線に沿った松林の中にあり、現在でも明治時代の別荘の面影をとどめています。

この建物は、平成 18 年（2006）11 月には横浜市指定有形文化財に指定されましたが、建物の老朽化が著しかったことから、平成 19 年（2007）に解体工事・調査を行い、現存しない部分を含め、創建時の姿に復元することとなりました。

平成 20 年（2008）6 月から復元工事に着手、平成 21 年（2009）10 月に庭園と併せて竣工しました。現在、邸内では伊藤博文に関する資料や調度品などを展示しています。

また、庭園からは海が一望でき、金沢区の花「ボタン」をはじめ、四季折々の花を楽しむことができるなど、歴史・文化に触れ合う市民の憩いの場として公開しています。